



第11回

見つめよう子どもの姿、考えよう子どもの現実

複言語・複文化ワークショップ

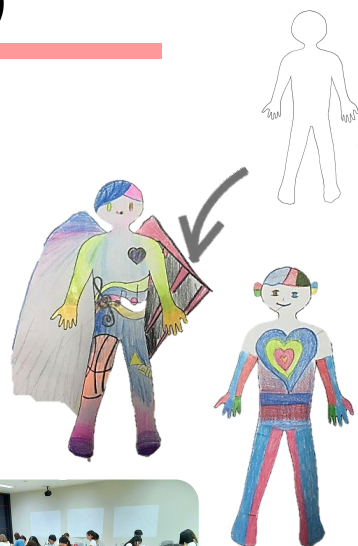
ツールで描き語る

わたしたちの言語・文化体験 —親と子どもと教師たち—

2024年8月25日(日)

12:00 ~ 16:30

複数の言語と文化で生きるというのはどんな経験なのでしょう。今回のワークショップでは言語マップを用いてこれまでの言語経験を整理し、次に言語ポートレートを用いて自分と文化との関係を可視化します。これらのツールを描き、語ることで、自分の複数性を実感し、複数の言語や文化で生きるすべての人の持つ複数性をリソースとして捉えることを目指します。子ども・親・教師と一緒に活動するワークショップです。それぞれ経験の違う人からきっと多くのことが学ばれるはずです。関心のある方はどなたでもご参加ください。自分で参加表明していることを条件にお子さんも参加もできます。親子でご参加ください。



会場:シーナカリンウィロート大学 サービスビル 15階

最寄駅 MRT Phetchaburi

参加費: 200バーツ(子ども/学生無料)

定員: 30名

お申込み・詳細は

JMHERAT ワークショップ

検索

申込期間: 7月1日(月)~8月17日(土)

主催: タイにおける母語・継承語としての日本語教育研究会 (JMHERAT)

問い合わせ先: JMHERAT@gmail.com

研究会Webページ: <https://jmherat2006.wixsite.com/jmherat>



当日内容(予定)

- ・言語マップ, 言語ポートレートを作成する
 - ・描いた言語マップ, ポートレートを共有する
 - ・複言語・複文化能力について
- 《持ち物》のり・はさみ・筆記用具

[協賛]



[後援]



[後援]



広報協力: タイ国日本語教育研究会